

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年 4月 20日

事業所名 こどもデイサービスわこう皆生通り

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		玩具を入れる棚、配置を変更し過ごしやすい空間づくりに努めています。	今後も環境整備に努め室内を広く使えるように整備していきます。
	2 職員の配置数は適切である	○			法令で必要とされる基準人員を満たしています。	新しいスタッフが入り配置数に余裕のある事業所を目指して整えていきます。加えて基準+1人の指導員の配置が出来るよう努めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			段差はありません。	入口にスノコを置いていますが状況に応じて取り外しできるよう工夫をしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			会議や報告会を定期的に行い情報共有や業務改善に努めています。	会議だけでなくその日の支援についての振り返りを気づきのあったスタッフ同士で話す事が出来る環境づくりを行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートの実施、保護者様からのご意見も含め全体で話をする機会を作っています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所評価を行った後玄関に開示、HPIにて投稿を行っています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価はありませんが社内監査を行っています。	検討していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月に一回以上の社内研修、外部での研修も参加しております。	一人ひとりだけでなくスタッフ全員で研修に参加し室の向上を目指したいと思っています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			期間に合わせて個別支援計画の作成の為聞き取りや会議を行っています。	
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			月に一度アセスメントを行い相談支援事業所へ持参しています。	2023年1月から月に一度行う児童のアセスメントを放課後等デイサービス標準形式に変更いたしました。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			行事、個別支援など全体で話し合う機会をつくっています。	スタッフ一人ひとりの専門性を活かした立案、意見の反映を目指しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			スタッフの意見を反映させたプログラムに取り組んでいます。	プログラムや行事の進行が出来るようスタッフの育成に努めていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		お子さん一人ひとりの特性に合わせた活動を提供できるようにしています。	当日のスケジュールが分かるような配慮を見直し、時間設定などきめ細かな支援が出来るようにしていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動と集団活動の時間を作っています。	時間の設定や活動の打ち合わせをスタッフ全員で共有し、より共通理解を深めた状態で取り組んでいけるよう努めていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		ホワイトボードを使い、その日の役割が分かるようにしています。	全体で行っている申し送りの時間を決め、その日の役割や児童状況など共通認識できるようにしていきます。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		業務終了前に申し送りの実施を行っています。	時間の確保が難しい時があり要点のみを話す事や次の日の朝に取り入れる事も視野に入れて情報共有を密に行います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務日誌、個別記録にてその日の記録を取るようになっています。	業務日誌を使い、特記がある児童について記入を行い申し送りの際に全体で話ができるようになっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		担当を決め毎月アセスメントを実施し計画作成のツールにしています。	児童発達支援管理責任者とスタッフ全体で会議を開く機会を取り入れ児童の状況整理や見直しができるようになっています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		児童に合わせた活動を取り入れています。	今後も様々な活動を取り入れていきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者、児童発達支援管理責任者が参加しています。会議前に対象のお子さんについての会議を開き、現状について話し合いを行った上で参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要な場合は学校へ連絡を行い送迎について連携を行う事や情報共有、その日の様子も伺うようにしています。	学校側から直接月の下校時間を頂けるようになっている箇所もあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在までその機会がありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		情報共有に努めています。	各関係機関と連携を密にしていきたいと思っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		養護学校で取り組む就労に向けた実習期間中に様子などお話しする機会を作っています。	今後取り組んでいきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		今年度まだ研修の機会がありません。	参加出来る研修には積極的に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		南中ソーラン踊り隊と年1回交流があるがコロナで昨年はなし	今年度は交流の機会を作りたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		情報を集め参加が可能であれば参加しようと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳を使った情報交換や状況に応じた面談、相談受付を行っています。	日頃から送迎時に顔を合わせる際に状況や様子を伝える事や、LINEで連絡を取り合い状況把握に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要に応じてご家族からの相談に対応しています。	職員のペアレントトレーニングの実施に向けて努めています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			必要に応じて事業所での面談、聞き取り、助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			お子様、保護者様への連絡、ご家庭に向いて報告を行うなど対応しています。	苦情に繋がる行為の改善策や原因などを話しお子さま、保護者様へ連絡を行い不備のないようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月に一度事業所新聞を発行し保護者様、関係機関へ発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報保護の為鍵庫での保管を行っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			言葉だけではなく書面や機器を用いて情報共有が出来るようにしています。	外国籍の保護者様とのやりとりなど日本語が難しい場合に翻訳機などを使って情報共有を行っています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		検討していきます。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルの作成、委員会での共通理解を行っています。	感染症防止委員会などの社内研修でマニュアルに沿った動き方の周知を行っていきたく思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年2回避難訓練を行っています。	非難バッグの中身の確認など消耗品の確認を適宜行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会の設置。アンケートに後の会議を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				現在該当なし。	契約時に説明を行い必要な場合は胃炎計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○	現在該当者なし	アレルギー以外に食事面など気をつける必要があるお子さんに対しては保護者様からの聞き取りや共有を行い事故防止に努めています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			○	月に一度の運営会議でヒヤリハット報告書を元に報告、改善策を話し合っています。	ヒヤリハットに基づいた社内研修に取り組んでいます。